

予報期間 12月15日から12月21日まで

## 1. アンサンブル資料

- アンサンブル(ENS)：期間のはじめはトリッジが北日本付近を通過し、次のトラフが接近、期間の中頃はトラフが日本海から北日本付近を通過し、本州の南海上ではサブハイが強まる。期間の終わりは、サブハイの中心は徐々に東に移動し、5520m付近のトラフが日本海を通過し、5700m付近のトラフが黄海付近に進む。地上は、期間のはじめは高気圧が日本の東に進み、前線を伴った二つの低気圧が日本海～北日本付近とサハリン付近に近づく。期間の中頃は、気圧の谷の通過後、日本のはるか東に進んだ高気圧が本州の南海上付近に張り出し、高気圧の縁辺となる本州南岸付近を潜在的な前線帯が東進する。期間の終わりは気圧の谷が日本海を通過し、前線帯が東シナ海付近のびる。
- 500hPa基本場（週間予報支援図）：実況は、朝鮮半島付近がトラフで、日本付近はゾーナルから西南西の流れ。日本の南は広くサブハイが覆う。全国的に正偏差。予報期間は、日本の南～沖縄付近にサブハイが位置し、日本のはるか東がトラフで、日本付近はほぼゾーナル。全国的に正偏差。
- 17日：リッジは日本の東に進み、トラフが日本海から北日本付近に進み、本州の南海上ではサブハイが強まる。地上は、前線を伴った二つの低気圧が日本海とサハリン付近に進む。また、日本の東の高気圧から湿った空気が入りやすくなる。北～西日本は低気圧や前線および高気圧縁辺の湿った空気の影響で雲が広がりやすく、日本海側中心に雨が降り、太平洋側も湿った空気の影響で雨の降る所がある。
- 18日：北日本をトラフが通過、本州の南海上では引き続きサブハイが強まる。前線を伴った二つの低気圧が日本海～北日本付近とサハリン付近を通過する。また高気圧の縁辺となる本州南岸付近の潜在的な前線帯が東進する。北～西日本は低気圧や前線および高気圧縁辺の湿った空気の影響で雲が広がりやすく、日本海側中心に雨が降り、太平洋側も潜在的な前線帯の影響で雨の降る所がある。
- 19日：5520m付近のトラフが日本海付近に進み、5700m付近のトラフが黄海付近に進む。地上は、トラフに対応して気圧の谷が日本海を東進し、潜在的な前線が日本の南海上に残る。北～西日本は気圧の谷や前線の影響で雲が広がりやすく、日本海側中心に雨が降る。
- 20日：5520m付近のトラフが日本海付近に進み、5700m付近のトラフが黄海付近に進む。地上は、トラフに対応して気圧の谷が日本海を東進し、前線が東シナ海付近から西日本付近にのびてくる。北～西日本は気圧の谷や前線の影響で雲が広がりやすく、日本海側中心に雨が降る。
- 21日：5520m付近のトラフが日本付近を通過、5700m付近のトラフが黄海付近に進む。地上は、北日本中心の冬型となり、日本海に高気圧が張り出すも前線が東シナ海付近から西日本付近にのびてくる。北日本は寒気の影響で雲が出やすく雪や雨の降る所がある。東～西日本は寒気や前線の影響で雲が広がりやすく、雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美：高気圧に覆われて晴れる日が多いが、期間の終わりは湿った空気の影響で雲が広がりやすい。
- ・アンサンブル(ENS)/27メンバー：20日に関東沿岸まで前線帯を上げているのは訳1割。
- ・スプレッド：昨日資料と比べて、7日目が拡大した他は縮小した。特定高度線は、後半はややばらつきが大きくなる。
- ・降水頻度分布：降水高頻度域は、19日の西日本付近で拡大、20日の西日本で縮小。
- ・予想T850時系列：北・東日本は期間の中頃まで正偏差、終わりに一時負偏差。東日本～沖縄・奄美は正偏差で推移。

## 2. 防災事項

- ・ 特になし。

## 3. 明後日予報（3時40分発表の短期予報解説資料も参照）

- ① 500hPa 5340m～5460mのトラフが、16日日中に北日本を通過する。
  - ② 500hPa 5520m～5580mのトラフが、16日午前中に東日本を通過する。
  - ③ 500hPaのトラフやリッジは動きが早く、①②のトラフが通過しても、すぐにリッジが優勢となり、東日本を中心に高気圧に覆われる。
  - ④ 500hPa 5700m付近では強風軸が明瞭となって、西日本から東日本では、正の渦度移流が断続的にある。
- 概ね、GSMを基本に予想を考えたい。①のトラフの通過に伴い、北海道地方では、一時的に日本海側で雪が降る。東海道沖には地上シアラインが南北にのび、シアライン近傍では、②のトラフや④の正渦度極大域の通過に伴い大気の状態がやや不安定となる。

## 4. 全般週間天気予報（案）

- ・ 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、低気圧や寒気の影響で曇りや雪または雨の日が多いでしょう。
- ・ 東日本から西日本にかけての太平洋側は、期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日もありますが、その後は気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る所がある見込みです。
- ・ 沖縄・奄美は、高気圧に覆われておおむね晴れますが、期間の終わりは湿った空気の影響で雲が広がりやすいでしょう。
- ・ 最高気温と最低気温はともに、北日本は、期間の中頃までは平年並か平年より高く平年よりかなり高い日もある見込みですが、期間の後半は平年並か平年より低いでしょう。東日本～沖縄・奄美は、平年並か平年より高く、平年よりかなり高い日もある見込みです。